

デイサービスセンターけあのすけ
第17回 運営推進会議 議事録



- 議 題：①運営状況についてのご報告（ご利用状況、配置職員等）
②熱中症対策について
③次回開催日や開催する時間帯等について（ご要望）
④介護相談、意見交換など

参 加 者：利用者（家族）代表者 1名
市職員 1名
民生委員 1名
事業所職員 3名

① 運営状況について（ご利用状況、配置職員、活動等）

<利用者様のご利用状況について>

・令和6年9月 現在の登録人数：22名（男性8名、女性14名）

・平均年齢

	60歳～	70歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	平均年齢
男性		2	2	2	1	1	84.96
女性	1	3	1	3	3	3	85.34
合計	1	5	3	5	4	4	85.19

○85歳以上のご利用者様が多く在籍されています。

・要介護度別利用人数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	3	1	2	1	1	8
女性	1	4	5	3	1	14
合計	4	5	7	4	2	22

○けあのすけでは、開業時より医療的な処置や経過観察など看護職員の関りが必要な方を積極的に受け入れさせて頂いており、要介護3～5の利用者様が多く在籍されていましたが、近年では少人数のアットホームな雰囲気でも個別に対応を望まれる方（人の多い場所が苦手な方や認知症状のある方等）のご利用も増えてきています。

R6年のはじめ頃より、要介護1～3のご高齢利用者が増えてきています。

・平均要介護度（R6年4月～R6年9月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
男性	2.8	2.8	2.8	2.5	2.5	2.5	2.7
女性	3.2	3.2	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0
平均	3.0	3.0	2.9	2.8	2.7	2.7	2.9

＜職員の配置状況 9月現在＞ 在籍数…9名（うち1名は調理員）

利用者様の介護や看護に要する時間を十分に確保するため、職員配置数を多くしています。また、下記職種については毎日出勤しているように勤務を組んでいます。

職種	業務内容	常勤	非常勤	計
管理者	職員・業務の管理	1（兼務1）		1
生活相談員	生活指導、養護、送迎、 介護予防・通所介護計画作成	2 （専従1、兼務1）		2
機能訓練員	機能訓練指導、助言		3（兼務3）	3
看護職員	健康チェック、動作訓練		3（兼務3）	3
介護職員	介護全般、送迎	2（兼務2）	2（専従2）	4

＜活動報告＞

- ・毎月、季節に応じた壁飾りを創作活動の一環として作成し、フロアに飾らせて頂きました（4月→桜 5月→こいのぼり 6月→あじさい、藤 7月→あさがお、かき氷 8月→ひまわり、花火 9月→コスモス、お月見）。
- 壁飾り以外にも、折り紙などで季節のお花を作って花瓶に挿したり、個別活動でお花紙を丸めたもので貼り絵を楽しんで頂いたりしました。役割分担し、一人ひとりが取り組める範囲で制作過程に携わって頂くことができました。
- ・お誕生日のお祝い（毎月）
写真を撮り、個別にお祝いの色紙をプレゼントさせて頂きました。
- ・9月16日に敬老のお祝いをし、順次プレゼントをお渡しさせて頂きました。

（災害対策）

- ・地震や台風など、自然災害時の備えとして、ポータブル電源「エナーボックス（防水タイプ）」を1台購入致しました。ソーラーパネルや車のシガーソケットからも充電でき、充電しながらの使用も可能なものとなっています。（下記は用途例）。



② 熱中症対策について

今年は全国的に記録的な猛暑が続き、ニュースなどでも外出時には十分に暑さ対策をするように呼びかけられています。

けあんのすけでは、熱中症対策として下記のような対策を実施しています。

- ・ 室温の管理（26℃程度）
寒さを感じられる方や直接エアコンの風が当たることを嫌う方もおられる為、エアコンの風向きや強さ、座って頂く席の配置などを考慮しながら、ひざ掛けの貸し出しなども行っています。
- ・ 湿度管理（70%以下）
湿度が高すぎるような日は、除湿を行い、過ごしやすい体感となるよう調整しております。
- ・ 遮熱対策
カーテンなどを利用し、直射日光を遮るようにしています。
- ・ 換気
感染症対策も併せて実施する為、時折換気し、空気の流れを作って風通しが良くなるようにしています。
- ・ クールスポットの設置と休息
冷房の効いた涼しい場所（静養室）を作り、個々の体調に応じて休んで頂けるようにしています。静養室の室温はフロアと変わりなく 26℃ですが、フロアよりも人の出入りが少なくゆっくり過ごせる為、涼しく感じられます。
- ・ 水分補給
夏季になり、水分を沢山摂られる方が増える一方で、普段から水分をあまり摂らない方もいらっしゃいます。来所時、入浴後、運動後、昼食時、おやつ時など小まめに声掛けを行い、少しずつでも水分を摂って頂けるよう働きかけをおこなっています。また、医師より、水分摂取量の制限や、必ずこれだけの量を飲むようにといった指示がある方には指示に従った対応を取らせて頂いています。
- ・ 送迎時の対応
お一人暮らしの方や、日中独居の方など、室温管理がご本人では難しい場合には、ご本人やご家族の了承を得て送迎時にエアコンを管理させて頂くなどの支援をさせて頂いています。

上記対策と共に、個々の体調変化に気を付けながら熱中症対策を実施させて頂きたいと思っております。個別に必要な支援がございましたら、お気軽にご相談下さい。

③ 次回開催日や開催時間帯等について

＜次回の開催予定月＞

令和7年3月

※都合により日程の変更をさせて頂く場合や、参加人数を制限させて頂いたりする場合がございます。

④介護相談、意見交換など

R6年8月に発生した台風10号や、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発表などを受けて、新たに講じた対策などがありますか？（けあのすけから出席者の皆様へ質問）

- ・市役所では台風10号の通過に備え、警報などの発令によって職員が泊まり込んだりして災害に備えていました。備蓄品などについては、既に様々な災害を想定した備蓄品の準備があるので、今回の件で新たに何かを準備するといったことはありませんでした。
- ・大きな災害時には、避難所での生活となることも想定できるが、最低3日、できれば1週間程度の備えが個々でも準備できると安心に繋がるという意見がありました。備蓄品の必要性や重要性は理解していながらも、個人宅では停電などに備えてすぐに食べれる食料品を買っておく程度にとどまり、実際には備蓄品を購入したり見直すまではしなかったという意見がありました。
- ・けあのすけでは自然災害への備えを見直しました。南海トラフ地震臨時情報の発表中は避難経路確保の為、利用者様の過ごされるデイフロアの掃き出し窓にスロープを設置し、玄関口以外からも屋外に出られるよう備えました。新たに購入したポータブル電源のソーラー充電と通電確認も行いました。屋外の備蓄倉庫に水や食糧品などを備蓄しているが、デイで普段から使用するティッシュやオムツ、ビニール手袋などの日用品も一緒に保管し、それらをローリングストックのように出し入れすることで日頃から備蓄品が目に入るようにしています。備蓄品の見直しや追加もしていきたいと思っています。